



九州大学
人社系協働研究・教育コモンズ

人文科学研究院／人間環境学研究院
法学研究院／経済学研究院

オムニバスセッション 知の形成史

【ハイブリッド開催】

第16回 2025 12/11[木] 14:50～

会場… E-A-239 / Zoom(オンライン併用)

どんな分野でもそうですが、「人文社会系」、もっと大きく「文系」としてくられる学問の中にも、多様な方法と目標・関心を持つさまざまな研究領域が広がっています。しかし、それぞれの研究領域は、初めから現在の形で個別に独立して存在していたものではありませんでした。そこには少なからず、人々の知的好奇心に導かれながらも、時代の移ろいや、それにともなう社会の要求にも応答して分化してきた経緯があります。

本シリーズではいま一度、それぞれの領域の「出来(いでき)はじめ」を紐解きつつ、現在の学問が時代や社会に何を要求されているのか、そして何ができるのかを考えます。人社系の知の意味と意義を問いなおすことを通じて、協働研究の「コモンズ」醸成を目指します。

末廣 香織 九州大学人間環境学研究院 教授
都市・建築学部門

「ものづくり」を通じて 人と社会を関係させる 建築の役割

九州大学BeCAT(環境をテーマにした建築研究教育センター)では、大学での研究成果を建築のプロジェクトという形で社会実装することに取り組んできました。シミュレーション技術を用いた建築のデザイン・施工、リサイクル素材の開発、ものづくりを通じたまちづくりイベントなどのプロジェクトを実施しています。熊本地震を契機に立ち上げられたKASEIプロジェクト(九州建築学生仮設住宅環境改善)では、現場での「ものづくり」と同時に「ことづくり」にも取り組んできました。建築という分野において、建ち上がってくるハードウェアが重要なことはもちろんですが、それと同様に建築するという作業には、人と社会を結びつける役割があります。プロジェクトの実例を題材にしながら、現代社会では見過ごされがちな建築の役割について議論したいと思います。

【聞き手】**福田 峻** 九州大学経済学研究院 准教授

【司 会】**蛭沼 芽衣** 九州大学人文科学研究院 助教



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

参加申込

下記サイトへアクセスの上、事前登録をお願いします。Zoomでご参加の方には折り返しアドレスとパスワードをご連絡いたします。
https://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event_36.html ▶



【主催／お問合わせ】九州大学人社系協働研究・教育コモンズ Email:enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp

【共催】九州大学アジア・オセアニア研究教育機構、九州大学社会連携推進室 科学コミュニケーション推進グループ

【後援】九州大学法文学部創立100周年記念事業実施委員会